

第378号 令和3年1月

東京都農業会議情報

編集及び発行 (一社)東京都農業会議

渋谷区代々木2-10-12
TEL 03-3370-7145

新年にあたって

(一社) 東京都農業会議 会長 青山 侑



青山 侑 会長

皆様あけましておめでとう
ございます。

昨年はコロナ禍によって世
界中の国々が大変な目に会
いました。私たちは改めて家族
や社会の大切さを強く感じま
した。

そのようななかで、農業委
員会法の5年ごとの見直しの
議論が進んでいます。農業と
農地は国の根幹をなすもので
すが、工業や商業あるいは情
報産業等とは異なり、巨大な
利益を生み出すのが困難な産
業です。

株式会社は人類が考え出し
た優れた制度ですが、株式会

社に投資した人は配当利益を
期待します。農業は株式会
社の仕組みをとったとしても必
ずしも大きな配当を保証でき
るものではありません。

株式会社を基本とする市場
原理に農業を委ねておくと、
高額配当があり得る産業に駆
逐されることとなります。そ
こで各国とも、農業と農地に
ついては市場原理に完全に委
ねることなく公共が関与する
仕組みをつくっています。

農業委員会法の見直しに対
しても、私たちは、農業と農
地について公共がどう関与し
ていくべきかという視点を大
切にしながらか対応していきた
いと考えています。困難な課
題に対して農業委員会や農業
団体、区市町村の連携が大切
です。本年もよろしくお願
い申し上げます。

農業委員会会長研究集会開く

京都府内の事例や取組みを研究

都農業会議は、
10月28日～29日
にかけて京都市及
び京田辺市で農
業委員会会長研
究集会を開きま



さんさん山城のほ場を見学する

した。

1日目は、京都府農業会議
より京都府の農業の概要・施
策と特定生産緑地制度への対
応状況および都市農地貸借円
滑化法の活用についての説明
を受け、摂南大学の中塚華奈
准教授からは関西の都市農業
と消費者の取組みについての
研修を受けました。

2日目は京田辺市内の新規
就農者である小島陵昌氏のハ
ウスを見学したほか、障害者
の就労支援の一環として農福連
携に取り組む山城就労支援事
業所「さんさん山城」の取組み
について現地研究をしました。

食と農セミナー開く

都農業会議・都農業経営者

都農業会議と都農業経営者
クラブ(眞利子伊知郎会長)
は12月10日に中野サンプラザ

にて東京都消費者月間実行委
員会ならびに(公財)東京都
農林水産振興財団との共催に
より「食と農セミナー」を開
きました。

都内の農業者と消費者が交
流しながら共に学び交流する
場をつくろうと毎年開いてい
るものです。
この日は認定農業者や経営

者クラブ会員、都内の消費者
ら87人が参加しました。

セミナーでは気象予報士と
して活躍している三橋功治さ
んを講師に迎え、「異常気象
に備えるくらし」農業や私た
ちの生活に与える影響」を
テーマに講演を開きました。

三橋さんからは、自然災害
の被害を少しでも防ぐため、気
象に関する情報をどのように
受け取れば良いかについてわ
かりやすく解説がされました。

新理事を選任

第2回臨時総会

都農業会議は11月16日に
渋谷区・JA東京南新宿ビル
で第2回臨時総会を開き、影
山竹夫理事の退任に伴う理
事(1名)の補充選任を行い、
岩瀬和春氏(東京都農林水
産振興財団理事長)を選任
しました。(総会後の理事会
で常設審議委員にも選任。)

事業推進協議会にて

令和3年度の事業・

予算の構想を協議

都農業会議は、11月16日に
農業委員会会長・区市町村主管
課長および学識経験者・農業
団体会員69人の出席を得て、
第2回事業推進協議会を開き
ました。

協議会では、令和3年度農
業会議事業・予算の構想及び
会費額などを説明し、来年度
も連携をはかりながら取り組
むこととしました。

今後、特定生産緑地制
度の周知活動、認定農業者
制度の普及と支援など、引
き続き進めることとしてい
ます。

農業委員会会長職務代理・部会長研究集会開催

6市町の農業委員会の活動について研究

都農業会議は、このほど、農業委員会会長職務代理・部会長研究集会を、昭島市のKOTORIホールにて開きました。

都農業会議から農業委員会活動の概要について説明した後、6市町の農業委員会の活動について研究しました。

最初に、町田市農委会の吉川庄衛会長から、これまでの都市農地制度の変遷と町田市農業委員会の活動について、具体的な数値や事例を交えて、講演しました。

清瀬市農委会の松村俊夫会長からは、中学生の農業体験事業などの取り組みについて報告がされました。



町田市農委会の取組みを話す吉川会長

国分寺市農委会の田中豊会長からは、生産緑地の追加指定・再指定、農ウオーク、市民農業大学などの取り組みが発表されました。

このほか、瑞穂町農委会からは新規就農者への支援について、武蔵野市農委会からは特定生産緑地制度の周知活動等について、東村山市農委会からは農家の女性の研修会や独自の調査活動などについて報告がされました。

女性農業委員の取組みを報告

女性農業委員等研修会開催

都農業会議は、このほど、女性農業委員等研修会をTKP新宿カンファレンスセンターにて開きました。

出席者全員で自己紹介を行った後に①狛江市農委会の栗原静枝委員から自らの農業経営や農業委員会活動について、②東大和市農委会の小林由美子委員からは農業委員会だよりの取り組みについて報告がされました。

都農業会議からは都内の農

地区別農業委員・推進委員研修会開催

都市農地制度など研究

都農業会議は、9月に都内4地区にて地区別農業委員・推進委員研修会を開き、およそ500人が参加しました。

研修会では、地区協議会・連合会会長の挨拶に引き続き、都農業会議から本年の農業委員会の重点活動について説明しました。

次に、都市農地制度について、特定生産緑地制度を中心に説明し、制度周知と活用をお願いしました。農業の担い手支援等については、認定農業者・認定新規

就農者制度、自治体独自の支援策などを説明しました。最後に本会の調査活動について概要と調査結果を報告しました。

研修会は左記のとおり開きました。

区内 9月10日(木)
練馬区生涯学習センター

西多摩 9月25日(金)
瑞穂町スカイホール

南多摩 9月30日(水)
町田市和光大学ポプリホール

北多摩 9月18日(金)
昭島市KOTORIホール

業委員会の概要について説明をしました。

続いて、講演会を開き、摂南大学農学部の中塚華奈准教授から東大阪市のフードマイレージの取り組みなどについて、報告がされました。



理事会・常設審議会だより

第6回常設審議委員会

9月17日J A東京南新宿ビルにて開催し、①農業会議事業概要説明②農地中間管理権等の状況報告③農委会改選状況報告④農委会・農業会議連携活動を説明。

10月理事会

第2回臨時総会の開催日時及び場所・議案決定。

第7回常設審議委員会

10月16日J A東京南新宿ビルにて開催し、①農地転用許可状況報告②農地中間管理権等状況報告③令和3

年度東京都農業会議事業・

予算構想④東京都農業共済組合澤井保人組合長理事より農業収入保険制度の説明。

11月理事会

理事岩瀬和春氏を常設審議委員に選任。

第8回常設審議委員会

事業推進協議会に続き開催し、①農地転用許可状況報告②農地中間管理権等状況報告③第60回企業的经营顕彰事業受賞者決定④第40回業後継者顕彰事業受賞者決定。



東大阪市の取組みについて説明する中塚氏

「農業委員会だより」の誌面づくりを研修

広報研究会開く

都農業会議は、このほど広報研究会を開き、各区市町村農業委員会の農業委員会だより編集担当者や職員など50人以上が参加しました。

まず、都農業会議の角田専務理事があいさつをし、引き続き農業委員会活動における情報活動の重要性について説明をしました。そのなかで農業委員会だよりの他の媒体との役割の違いや読ませる工夫などについてあわせて説明をしました。

次に、(株)農天氣の小野淳氏が「農業委員会だより」の誌面づくりについて講演をしました。講演では、分か



広報研究会で講演する小野淳氏

りやすい文章と分かりづらい文章の違いや必要な情報を整理する方法などについて紹介がされました。

続いて、羽村市、多摩市、武蔵村山市の農業委員会だより編集担当者・職員より「農業委員会だより」の企画から発行までの取組みが報告されました。

さらに、全国農業会議所より全国農業新聞の普及や情報誌の執筆のコツなどについて説明がされました。

農業者年金加入の魅力の研究

農業者年金制度推進研究会開く

都農業会議は、11月25日に農業者年金制度推進研究会を開き、農業委員会・JA職員、加入推進員(農業委員)など35人が出席しました。

はじめに、農業会議職員より農業者年金制度と東京都の加入推進の取り組みについて説明しました。

その後、小金井市農業委員会の高橋金一会長が農業者年金について加入の経緯とその魅力を報告と同市の制度の普及状況や加入推進活動などに

農業経営の法人化と農地の賃借・雇用の活用研究会開催

雇用研究会を開きました。

都農業会議では、11月20日と12月4日に「農業経営の法人化と農地の賃借・雇用の活



生活クラブ農園・あきる野のほ場で説明を受ける

用研究会」を開きました。20日は、あきる野市で農業参入をした生活クラブ生活協同組合・東京(増田和美理事長)の農場責任者の富澤廉氏より、会員向けの契約出荷や体験農園の取組みについて、講演がされ、現地研究を行いました。

4日には、立川市の高橋果樹園および東京農業株式会社代表取締役である高橋尚寛氏より、法人設立の経緯や目的のほか、今後の展望を踏ま



果樹園の経営について説明する高橋尚寛氏

農地中間管理事業を活用し

農地の利活用を積極的に進めましょう

法改正により令和2年4月から農地中間管理事業の対象地域が市街化区域以外に広がりました。

さらに、これまで東京都内では実施されていなかった農地の中間保有(貸出先がすぐに決まらない場合の農地一時保有としての借受)

けが都により事業化され本年度より実施されています。

えた取組みについて講演を行い、現地研究をし、参加者との意見交換などを行いました。

本事業により中間保有にて必要となる農地の保全管理作業と賃料などは、農地中間管理機構である都農業会議にて対応します。農地の中間保有は、すでに青梅市と瑞穂町ではじまっています。

これからも農地の利活用を積極的に進めましょう。

特定生産緑地制度を知らない 生産緑地所有者をひとりもつくらない 運動を進めよう！

生産緑地法の一部改正により創設された特定生産緑地の指定申請の締め切りを都内の多くの区市が本年を最終年として周知しています。

このようななか、都内の区市農業委員会では「特定生産緑地制度を知らない生産緑地所有者をひとりもつくらない」運動を進めています。

都農業会議では、都の事業などを活用しリーフレットの作成・配布など行ってきましたが、コロナ禍のなかで区市で予定されていた説明会など中止が相次いでいました。このようななか、区市での

運動を進めよう！

説明会が再開しています。10月には葛飾区で11月には世田谷区で2回の説明会が開かれ、都農業会議からも特定生産緑地・都市農地貸借円滑化法の説明を行いました。

国分寺市では、農業委員会が開く4日間の座談会と都農業会議が連携をし、制度の説明を行ったほか、新たな都市農地制度について意見交換をしました。

本年に入りさらに多くの区市にて説明会や個別訪問が計画され、一体となって最終年に向けた運動が進められています。

コロナ禍における農園での取組みについて意見交換

NPO法人全国農業体験農園協会
京都農業体験農園園主会

NPO法人全国農業体験農園協会（加藤義松理事長）は10月27日に協会役員と京都農業体験農園・園主会（溝川長雄会長）との合同意見交換会を開きました。

『コロナ禍における農園での取組み』をテーマに、各園主より発表があり、農園内の注意点や工夫、陽性者が出

た場合の対応等について意見交換を行いました。今回初の試みであるリモートによる意見交換会について、加藤理事長は「今回を機に全国の会員に情報を発信し交流していききたい。」と述べ、溝川会長も「皆で顔を合わせ情報交換をして体験農園の発展に努めたい。」と話しました。

非農家出身者の新規就農者たちが マルシェで農作物をPR

都内で新規就農した非農家出身者が各地でマルシェに取り組み、自らつくった農作物をPRしています。

これは、都農業会議が就農定着マネイジメント事業（東京都事業）を活用し開いているもので、10月22日にはUR都市機構と連携し、清瀬UR旭が丘団地広場で11月にはJA東京アグリパークで一週間マルシェを開きました。

「農家の相続」をテーマにセミナー開く

多摩市・多摩市農業委員会

多摩市において11月23日、市と農業委員会（小暮和幸会長）の主催により農業後継者育成セミナーが開かれました。

市内にいる未就農の農家後継ぎなどを主な対象にしたセミナーで、昨年引き続き2回目の開催になります。関係者をあわせて17人が参加しました。

セミナーでは、はじめに都農業会議職員から都市農地を継承するために知っておきたい法制度について説明しました。その後、司法書士・行政書

マルシェで農作物をPR

清瀬市の旭が丘団地では地域住民に東京産の野菜をPRしコミュニケーションをはかりました。JA東京アグリパークでは、青梅市・瑞穂町・あきる野市・日野市・小平市・三宅村の新規就農者が毎日それぞれ工夫を凝らし自らの農産物をPRしました。料理の仕方や野菜の特長などを説明しながら来客者の反応を確かめていました。

士である古宮努氏を講師に迎えて「農家の相続」をテーマにした講演が行われました。柱茶柱の芸名も持つ古宮氏は、落語家に師事し、ライフプランについて楽しく伝える方法を工夫しているユニークな専門家です。この日の講演では、相続に關してあらかじめ準備しておくことの大切さなどについて話されました。参加者からは「笑いながら大切な事を勉強できた」、「相続の心構えができた」などの感想が聞かれました。



JA東京アグリパークのマルシェで来客者に野菜の特長を説明する新規就農者

1月～3月の日程

- 1.13 (水) 島しょ農委検討会
 - 1.15 (金) 区内農委検討会
 - 1.18 (月) 常設審議委員会
 - 1.19 (火) 西農委検討会
 - 1.21 (木) 南農委検討会
 - 1.25 (月) 北北農委検討会
 - 1.27 (水) 北南農委検討会
 - 1.29 (金) 北西農委検討会
 - 2.2 (火) 組織・活動検討会
 - 2.4 (木) 農委会活動研究会
 - 2.9 (火) 組織・活動検討会
 - 2.12 (金) 理事会
 - 2.12 (金) 常設審議委員会
 - 2.12 (金) 大会運営委員会
 - 2.18 (木) 第62回農委会大会
 - 3.5 (金) 主任職員協議会
 - 3.5 (金) 都職研役員会
 - 3.17 (水) 第128回通常総会
 - 3.17 (水) 常設審議委員会
- *日程が変更となる場合がありますので、留意ください。